

「危険」「回避」認識を

樋口氏、海外貿易で強調



沖縄振興開発金融公庫と中小機構沖縄などは20日、那覇市の沖縄公庫で海外展開セミナーを開催した。中小機構国際化支援アドバイザーの樋口壽男氏が「貿易実務者養成のための貿易基礎知識」と題して講演した。

樋口氏は貿易取引時の留意点として、安全な決済方法の選択や、書面での契約締結、相手国の法的規制の

海外との取引をする上での留意点などについて説明する中小機構国際化支援アドバイザーの樋口壽男氏（左端）20日、那覇市の沖縄振興開発金融公庫

確認などを挙げた上で「常にリスク（危険）とヘッジ（回避）の認識を持ち続けることが大切だ」と強調した。

樋口氏は、国内取引と同じ感覚で海外取引を行うと失敗のリスクが高いと指摘した。商習慣や文化、価値観などの違いにより「国内で成功しているから海外でも成功するということはない」と断言し、「思い込みや準備不足が原因で重大なトラブルに巻き込まれる可能性がある」と話し、事前の情報収集などの重要性を語った。

セミナーは沖縄公庫、中小機構沖縄、シエトロ沖縄、JICA沖縄の4者による共同開催で、基調講演後には、各団体の支援制度が紹介された。

平成29年2月21日

提供：琉球新報社

無断での転用・複写等を禁じます